

各 位

2016年7月4日

SBIホールディングス株式会社

SBIインベストメント株式会社

株式会社ニコンとのプライベートファンドの共同設立に関するお知らせ

当社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：北尾 吉孝）グループの100%子会社であるSBIインベストメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：川島 克哉、以下「SBIインベストメント」）は、株式会社ニコン（本社：東京都港区、代表取締役社長：牛田 一雄、以下「ニコン」）と、ニコンの既存事業分野およびIT、AI、ロボットなどの最新技術やサービスの新規分野を投資対象とする新たなプライベートファンド「Nikon-SBI Innovation Fund」を共同で7月1日に設立いたしました。

ニコンは中期経営計画において、新規事業の拡大に向け300億円規模の資金をCVC（コーポレートベンチャーキャピタル）プログラムに投資する方針を示しており、既にSBIインベストメントを含む複数のVC（ベンチャーキャピタル）経由でグローバルにベンチャー投資を始めております。今回のプライベートファンドの共同設立もCVCプログラムの一環です。

ニコンのCVCプログラムはベンチャービジネスが有する最先端技術やビジネスモデルなどを積極的に入手することを目的としていますが、今回のプライベートファンドでは、投資対象をニコンの既存事業のみならず新規分野に拡大します。

SBIインベストメントがこれまで培ってきた成長分野への投資実績と経験を活用し、事業シナジーが見込まれるベンチャー企業への投資を通じて新事業の育成を実現するため、このたびプライベートファンドを共同で立ち上げることになりました。

「Nikon-SBI Innovation Fund」の規模は最大100億円、運用期間は今後8年間を予定しております。

SBIインベストメントはSBIグループのアセットマネジメント事業における中核的企業であり、「新産業クリエイター」として、IT、バイオ・ヘルスケア、環境エネルギー分野等の次世代の成長分野の未公開企業に累計3,720億円（2016年3月末）の投資を行っています。

昨今は事業会社がプライベートファンド（コーポレートベンチャーファンド）を立ち上げ、事業シナジーが期待できるベンチャー企業への投資を通じて新事業の育成を図る動きが活発化しており、ベンチャーキャピタルに求められる役割も多様化してきております。

SBIインベストメントはこれまでに培ったベンチャー企業育成の知見を活かし、事業会社とベンチャー企業の連携を通じたイノベーション創出を支援するとともに、今後も21世紀の中核的産業の創造及び育成を推進してまいります。

【ご参考：新ファンドの概要】

ファンド名	Nikon-SBI Innovation Fund
設立時期	2016年7月1日
運用期間	8年
運営会社	SBI インベストメント株式会社
投資対象	ニコンの既存事業分野および IT、AI、ロボットなどの最新技術やサービスの新規分野における有望なベンチャー企業
ファンド規模	100億円（予定）

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126